

はもち

# 放課後子ども教室

～地域の力を子どもたちのために～

だより



今回は『風船バレー』をやってみました。ふくらませると95cm…子どもたちが集まってくる前に支援員総出で膨らませていただきました。子どもたちは体育館に入ってくるとその大きな風船に大興奮！「何やるの？」「風船バレーだよ、縦割り班になれる？」「〇班だよ。わかった！」3年生は1、2年生が並びやすいようにすぐに動き始めてくれました。遊び方は縦割り班ごとに床に落とさないようにバレーをしたり、手をつないだままでバレーをしたり、風船をバトン代わりにリレーもしてみました。活動途中にはすでに汗もびっしょりで水分補給をしながら熱中症にも気をつけてみんなであそぶことが出来ました。



～児童受付について～

まだ申し込みをしていない1～3年生もいつでも参加できます

～支援員・地域ボランティア募集中～

支援員登録はQRコードからお申し込みできます。→





【コーディネーターより、ちょっと一言】 今回は準備段階で、これまでに支援員登録をされている方の出席が少ないかも？と分かり、改めて放課後子ども教室に参加して下さっているご家庭や、卒業生の親御さんにも放課後のお迎えに来られる『ついでの参加』をお願いできないか、声をかけさせていただきました。ありがたいことに、今回新たに2名の方に支援員へのご協力をいただくことが出来ました。ひとりひとりの力があつまって、この時間が成り立っていることを改めて感じました。ありがとうございます。

教室の終わりには支援員として参加し感じたことや気づいたことをお話していただきます。「楽しかった」「子どもの遊びや姿に元気をもらえた」「風船バレーは今後もやってみたらいいかも」といった声から「夢中で遊びすぎてあの場面は少しヒヤッとしたからこういう風に修正できたらよかった」や気になる行動をとっている時の子どもたちへの声のかけ方もいっしょに考えてくださっています。心強い時間でした。

# はもち 放課後子ども教室

R8 年 6 月 22 日 編

～地域の力を子どもたちのために～

だより



今回は羽茂小学校の『地域交流室』のかざりつけをしようと、みんなで『手形アート』に挑戦してみました。3年生は図工の時間にやったことがあるということで、手にえのぐをぬってペタン。その手形をいろいろなものに見立てて絵を仕上げていきました。2年生、1年生の順にえのぐを使っていきましたが、待っている間に描いてみたいものを決めていた子どもは1つ完成させると、2つ目に取り掛かっていました。

地域交流室の看板となる大きな白い紙を用意しました。子どもたちだけでなく、支援員や見学に来られた校長先生にも手形を押してもらえました。地域の大人の大きな手形も加わり、はもち放課後子ども教室を表現しているような作品となりました。活動後に、さっそく地域交流室に飾りました。かざりつけの様子を見に来られた小学校の先生方にも「温かみのある部屋になりましたね」と大変好評でした。



～児童受付について～

まだ申し込みをしていない1～3年生もいつでも参加できます

～支援員・地域ボランティア募集中～

支援員登録はQRコードからお申し込みできます。→





【コーディネーターより、ちょっと一言】 今回は羽茂小学校が地域の方々にも開放している『地域交流室』のかざりつけをさせていただきました。この部屋は地域の方々が利用される中で子どもたちと交流もできる場所です。そのような場所をはもち放課後子ども教室で飾り付けができるというのはとてもよいプログラムだったと思います。子どもたちの自由な手形アートをみながら『地域交流室』で子どもたちとの交流をお楽しみください。

さて次回 7月13日は理科センターから講師をお招きしたプログラムになります。子どもたちといっしょに体験活動を楽しんでみませんか？支援員登録をお待ちしております。

発行者：はもち放課後子ども教室 コーディネーター 本間・梅澤  
 問合先：佐渡市教育委員会 南地区教育事務所(羽茂) 電話 88-2230